

<News Release>

2024年12月13日

株式会社博報堂

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

博報堂および博報堂DYメディアパートナーズの統合について

2024年11月13日に株式会社博報堂DYホールディングス（以下、博報堂DYホールディングス）よりご報告の通り、株式会社博報堂（以下、博報堂）と株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（以下、博報堂DYメディアパートナーズ）は統合について検討を進めておりましたが、以下のとおり統合することが決定しましたので、お知らせいたします。

1. 統合の目的

博報堂DYホールディングスは2024年6月に、「従来の“広告会社グループ”の枠を超え、“クリエイティビティ・プラットフォーム”へと進化していく」ことを目標に、新たな中期経営計画（以下「本中計」）を発表しました。生活者を起点としたクリエイティビティをエッジに、生活者・企業・社会をつなぎ、新たな関係価値を生み出すことで、未来を創造するグループとなることを目指し、本中計の3年間に「マーケティングビジネスの構造改革」「新たな成長オプションの創造」「グローバルビジネスのリモデル」の3つの観点で事業構造変革を進めていくこととしています。

国内における「マーケティングビジネス」では、データ/テクノロジーを活用したフルファネル対応が必須条件になってきています。企業のマーケティングニーズは、生成AIなどのテクノロジーの進化や様々な生活者データの活用が可能になる中、テレビやインターネット、プロモーションによる統合コミュニケーションだけではなく、フルファネルでの設計と実践に変化しています。マスメディアもデジタルメディアと同様の運用型に進化しており、マスメディア・デジタルメディアを活用したマーケティングコミュニケーション機能からコマースやCRMなどのマーケティング実践機能までをデータを活用しながらフルにカバーする、“生活者データ・ドリブン”フルファネルマーケティング機能が重要になります。企業のこのようなニーズの拡大に対応するためには、よりシームレスな提供機能の強化が重要であることから、博報堂と博報堂DYメディアパートナーズを統合し、データに基づいたフルファネルマーケティングのプランニングやメディア対応機能などのコア機能を新「博報堂」に集約、高度化を推進することとします。また博報堂のフロントラインと博報堂DYメディアパートナーズのメディア対応機能が一体となって活動することで、メディア販売力やメディア企業への提案力の強化も実現します。

博報堂と博報堂DYメディアパートナーズの統合によってフルファネルマーケティング機能が高度化される新「博報堂」は、今後、グループ共通基盤となることも目指します。

2. 新会社について

- ・社名 株式会社博報堂
- ・社員数 4,601名（予定：博報堂および博報堂D Yメディアパートナーズの2024年4月1日時点人員合算）
- ・所在地 東京都港区赤坂5-3-1
- ・株主 株式会社博報堂D Yホールディングス 100%
- ・統合予定日 2025年4月1日
- ・方式 博報堂を承継会社とする吸収分割。

※代表者、組織などについては現時点で未定。決定次第改めてお知らせいたします。

以 上

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 E-mail : koho.mail@hakuodo.co.jp